

---

# 第20回モニタリング会議 ご説明資料 (2019年4月～9月業績報告)

2019年12月5日



1. 計画と実績の対比	p.3
□ 全社PL	
□ 路線バスPL	
□ 軌道PL	
2. 公共交通利用状況	p.6
□ 路線バス	
□ 軌道	
3. 公共交通取組状況	p.8
4. 公共交通に関する設備投資の実施状況	p.9

## 計画と実績の対比（全社PL）

## 全社の事業再生計画第5期（2019年4月～9月）実績は、以下のとおりです

※事業再生計画の財務数値は、「とさでん交通」と「とさでんトラベル（旅行業）」との合算

&lt;2019年4月～9月&gt;

	2019年4月～9月				進捗率 ④÷①	2018年4～9月	
	2019/4～2020/3月 12ヶ月 計画①	2019/4～6月 第1四半期 実績②	2019/7～9月 第2四半期 実績③	2019/4～9月 6ヶ月 実績④(②+③)		前年同期 実績	前年 同期比
売上高	5,449	1,388	1,506	2,894	53%	2,898	100%
売上原価	573	189	217	406	71%	403	101%
差引収益	4,876	1,199	1,289	2,488	51%	2,495	100%
人件費	2,500	603	723	1,326	53%	1,345	99%
厚生費	294	85	108	193	66%	196	98%
動力費	519	101	108	209	40%	220	95%
修繕費	292	67	78	145	50%	137	106%
物件費	108	20	33	53	49%	41	129%
経費	1,000	228	234	462	46%	491	94%
諸税	105	18	24	42	40%	41	102%
減価償却費	538	125	122	247	46%	241	102%
営業費計	5,356	1,247	1,430	2,677	50%	2,712	99%
営業利益	-479	-48	-141	-189	-	-218	-
営業外収益	56	39	14	53	95%	48	110%
営業外費用	62	18	12	30	48%	32	94%
経常利益	-485	-27	-139	-166	-	-202	-
特別利益	547	6	5	11	2%	9	-
特別損失		0	5	5	-	1	500%
税引前当期利益	62	-21	-139	-160	-	-194	-
法人税等	51	0	11	11	-	12	92%
当期純利益	11	-21	-150	-171	-	-206	-

&lt;経費科目説明&gt;

動力費・・・軌道動力費・バス軽油費等 修繕費・・・軌道、バス事業における各種修繕等 物件費・・・水道光熱費・備用品等  
 経費・・・賃借料・借地料・広告宣伝費・道路使用料等 諸税・・・固定資産税・自動車税等 減価償却費・・・固定資産償却・のれん代償却  
 営業外収益・・・受取配当金・業務委託料等 営業外費用・・・支払利息等 特別利益・・・補助金等 特別損失・・・固定資産圧縮損等

&lt;2019年4月～9月第2四半期の概況&gt;

## ■事業再生計画比 ※第2四半期につき進捗率50%と比較

・売上高、差引収益は計画をクリア。営業費は軽油単価の低位推移などにより、計画比下振れ

営業利益、経常利益ともに赤字であるが、計画を上回る進捗

➢【売上高】2,894百万円となり進捗率53%

➢【売上原価】旅行事業部門の押上により、進捗率71%

➢【差引収益】計画を上回る進捗

➢【営業費】計画並みで推移

➢【営業利益】△189百万円の赤字であるが計画を上回る進捗

➢【営業外損益】上場株式配当金等により23百万円のプラス

➢【特別損益】運行委託料により6百万円のプラス

➢【当期純利益】第2四半期経過時点で△171百万円の赤字

→補助金の大半は年度末に計上

※実績②については内部取引消去漏れにつき、前回資料から売上高、売上原価とも133百万円を控除

## ■対前年同期実績比

➢売上高、差引収益はほぼ水準で推移

➢営業費は、人件費・経費を中心に減少

➢営業損益は前年同期比で赤字幅減少

➢経常損益・当期損益は営業外収支プラスにより前年比赤字幅減小

※利益面では前年度に比べ台風等の影響は今年度は軽微。

## 計画と実績の対比（路線バスPL）

## 路線バス事業の2019年4月～9月実績は、以下のとおりです

&lt;2019年4月～9月&gt;

	2019/4～2020/3月	2019/4～6月	2019/7～9月	2019/4～9月	進捗率 ④÷①	2018/4～9月	前年 同期比
	12ヶ月 計画①	第1四半期 実績②	第2四半期 実績③	6ヶ月 実績④(②+③)		前年同期 実績	
売上高	1,056	241	257	498	47%	507	98%
売上原価					-		-
差引収益	1,056	241	257	498	47%	507	98%
人件費	737	176	216	392	53%	408	96%
厚生費	79	26	32	58	73%	59	98%
動力費	184	38	41	79	43%	86	92%
修繕費	120	23	30	53	44%	50	107%
物件費	29	4	6	10	34%	10	102%
経費	164	40	41	81	49%	78	104%
諸税	25	6	1	7	28%	7	106%
減価償却費	136	30	31	61	45%	61	101%
営業費計	1,474	343	398	741	50%	758	98%
専属営業損益	-418	-102	-141	-243	-	-250	-
減価償却前専属営業損益	-282	-72	-110	-182	-	-190	-

&lt;専属営業損益とは&gt;

✓ 本社費配賦前の事業別営業損益

## &lt;計画差異要因等&gt;

## ✓ 売上高

- 2017年4月からのスクール線便数減少による減
- " 10月からの安芸線移管による減
- 2018年10月からの土佐市ドラゴンバス移管による減

## ✓ 費用

- 人件費: 人事制度改正による増、時間外手当増
- 厚生費: 人件費増、科目計上ルール変更に伴う増
- 動力費: 軽油単価の低位推移、走行キロの減
- 修繕費: 減車及び車両更新による減

## ✓ 専属営業損益

- 費用は計画並みであったが、収入減少により、計画を下回る進捗

## &lt;前年同期差異要因等&gt;

## ✓ 売上高

- 土佐市ドラゴンバス移管とダイヤ改正による減キロによる減

## ✓ 費用

- 人件費: 運転業務数減による時間外手当減
- 動力費: 走行キロ減及び軽油単価低下による減
- 修繕費: 部品・タイヤの仕入価格上昇による増
- 経費: 一宮BT借地料及び保険料の増

&lt;科目計上ルール変更とは&gt;

- ✓ 計画上、嘱託社員等の人件費+厚生費を全て人件費に計上していたが、実績は、人件費と厚生費をそれぞれに分けて計上している

## 計画と実績の対比（軌道PL）

## 軌道事業の2019年4月～9月実績は、以下のとおりです

&lt;2019年4月～9月&gt;

	2019/4～2020/3月	2019/4～6月	2019/7～9月	2019/4～9月	進捗率 ④÷①	2018/4～9月	前年 同期比
	12ヶ月 計画①	第1四半期 実績②	第2四半期 実績③	6ヶ月 実績④(②+③)		前年同期 実績	
売上高	1,000	256	292	548	55%	550	100%
売上原価					-		-
差引収益	1,000	256	292	548	55%	550	100%
人件費	562	146	178	324	58%	321	101%
厚生費	70	21	27	48	68%	47	102%
動力費	77	19	24	43	56%	43	101%
修繕費	46	13	16	29	62%	25	118%
物件費	22	7	10	17	76%	13	133%
経費	60	17	20	37	62%	36	103%
諸税	15	2	2	4	26%	3	132%
減価償却費	47	11	10	21	45%	20	105%
営業費計	901	236	287	523	58%	507	103%
専属営業損益	99	20	5	25	25%	43	58%
減価償却前専属営業損益	146	31	15	46	32%	63	73%

&lt;専属営業損益とは&gt;

- ✓ 本社費配賦前の事業別営業損益

## &lt;計画差異要因等&gt;

- ✓ 売上高
  - 計画を上回る進捗
- ✓ 費用
  - 人件費:人事制度改正による増、時間外手当増
  - 厚生費:人件費増・科目計上ルール変更に伴う増
  - 動力費:賦課金の燃料調整費増
  - 修繕費:繰越修繕費用による増
  - 物件費:PC入替、被服費増等
  - 経費:ですかシステム更新賃借料、美術館通P&R代替地賃借料等による増
- ✓ 専属営業損益
  - 25百万円の黒字であるが、営業費が計画比高止まり(58%)のため、進捗率は計画を下回る

## &lt;前年同期差異要因等&gt;

- ✓ 売上高
  - 前年同期比2百万円減でほぼ前年並み推移
- ✓ 費用
  - 人件費:乗務員不足による時間外手当増
  - 修繕費:繰越工事の材料費増
  - 物件費:PC入替、被服費増等
- ✓ 専属営業損益
  - 営業費増による減益

## &lt;科目計上ルール変更とは&gt;

- ✓ 計画上、嘱託社員等の人件費+厚生費を全て人件費に計上していたが、実績は、人件費と厚生費をそれぞれに分けて計上している

路線バスの2019年4月～9月利用状況：運送収入は前年比98%、IC利用客数は前年比97%

- 本表は運送収入のみ  
広告収入及び、補償金等の特殊要因が含まれる「運送雑収入」は含めていない

<2019年4月～9月>

※広告除く売上  
単位：百万円

	2018/7～9月	2019/7～9月	2018/4～9月	2019/4～9月	前年 同期比 ②÷①
	3ヶ月 前年同期	3ヶ月 実績	6ヶ月 前年同期①	6ヶ月 実績②	
運送収入	245	251	495	486	98%
①定期全体	46	48	95	94	99%
②定期外収入	200	203	400	392	98%
うち、現金収入	115	116	221	219	99%
うち、SF	85	87	179	173	97%

<路線バス収入の増減要因>

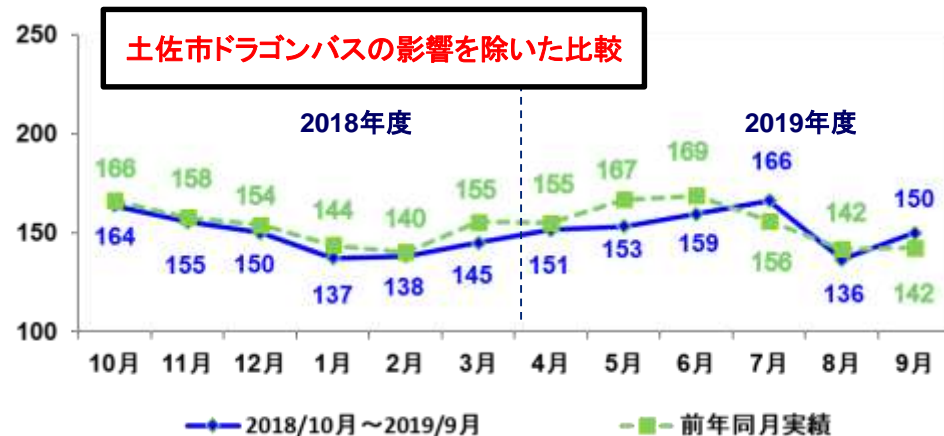
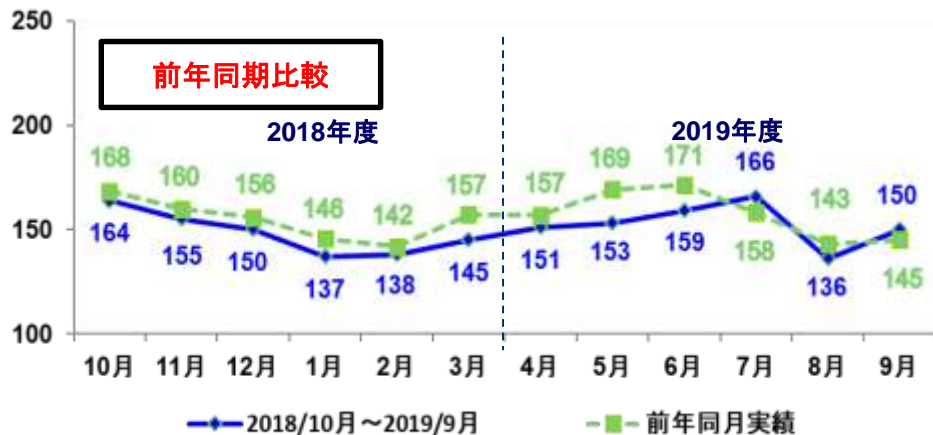
- ✓「ダイヤ改正による減キロ」  
2017年10月1日 △4.8%  
2018年10月1日 △8.6%
- ✓昨年度の運送収入から土佐市ドラゴンバスの収入を除いた場合99%

【移管等の影響】

単位：百万円

	R1
土佐市ドラゴンバス	▲6

<利用客数推移> 単位：千人



<利用客について>

- ✓ 減少要因は、2018年10月の土佐市ドラゴンバスの移管の影響もあり、ICカード利用客数は917千人、前年同期は943千人で97%
- ✓ 前年同期分から、土佐市ドラゴンバス移管を除いた場合では930千人で99%となる

・ 利用客数は、ICカード「ですか」に基づいており、現金などを除く

・ IC使用率は約60%(利用客数による)

## 公共交通利用状況（軌道）

## 軌道の2019年4月～9月利用状況：運送収入は前年比99%、IC利用客数は前年比99%

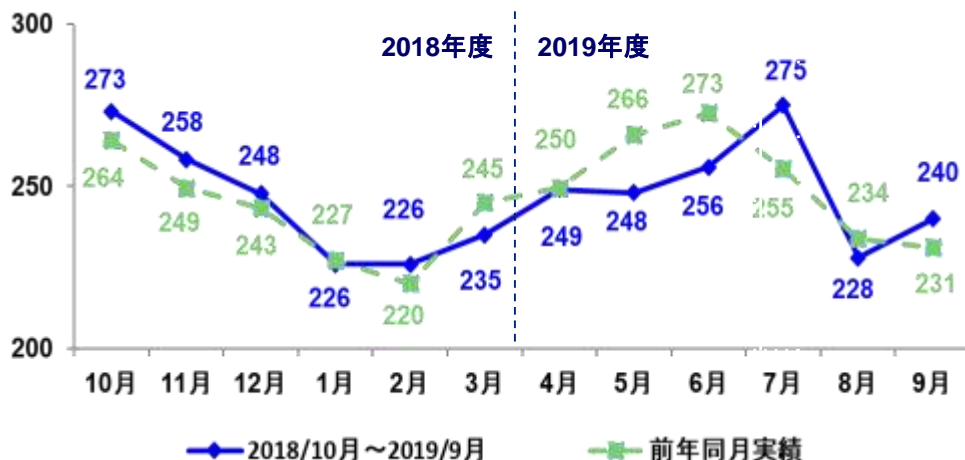
- 本表は運送収入のみ  
広告収入及び、補償金等の特殊要因が含まれる「運送雑収入」は含めていない

&lt; 2019年4月～9月 &gt;

※広告除く売上  
単位：百万円

	2018/7～9月	2019/7～9月	2018/4～9月	2019/4～9月	前年 同期比 ②÷①
	3ヶ月 前年同期	3ヶ月 実績	6ヶ月 前年同期①	6ヶ月 実績②	
運送収入	255	261	495	491	99%
①定期全体	65	68	131	135	103%
②定期外収入	190	193	364	356	98%
うち、現金収入	134	135	249	243	97%
うち、SF	56	58	115	113	99%

&lt;利用客数推移&gt; 単位：千人



&lt;軌道収入の増減要因&gt;

- ✓ 運送収入は、前年同期比99%
- ✓ 「雨天日」は、2019年4月～9月で前年比▲3日  
⇒(雨天日増減：4月+3日、5月▲5日、6月 0日、7月+5、8月+2、9月▲8)
- ✓ 直接的な利用促進につながる「幕末維新博」の終了により、観光客利用(現金収入)が減少したとみられる。

&lt;利用客について&gt;

- ✓ 対前年同月比、7月、9月は増、その他は減
- ✓ 6ヵ月累計のICカード利用客数は1,497千人、前年同期は1,509千人で99%
- ✓ 主に現金・ICカードの利用者が落ち込んだ
- ✓ なお、定期全体の収入は増加したが、運休等で利用者数自体が減少した

- 利用客数は、ICカード「ですか」に基づいており、現金などを除く
- IC使用率は約53%(利用客数による)

## 公共交通取組状況

## 2019年度、路線バスと軌道の取組施策は以下のとおりです

## 《2019年度 実施施策》

内容	路線バス	軌道
■2019年4月1日～2019年9月末		
1 オリジナルフレーム切手発売 4月	-	○
2 高坂学園生涯大学K組 講演 4月	○	○
3 朝倉待合所供用開始 4月	-	○
4 高知赤十字病院乗り入れ 5月	○	-
5 ローラー活動(長浜) 5月	○	○
6 車いす対応可能バス停一覧図作成 5月	○	-
7 高校県体応援一日乗車券の販売 5月	-	○
8 公共交通体験プログラム(電車とバスで高知をうろちよろ) 6月	○	○
9 セミナー会員様車庫見学受入 6月	-	○
10 小学生を対象とした出前授業 6月(2校5クラス 計149名)	○	○
11 春・夏・冬休み!バスキッズ定期券販売開始 7月～	○	-
12 ですか伊野駅舎出張窓口 7月	○	○
13 日本テレビ「ヒルナンデス」での路面電車の紹介 8月	-	○
14 運輸のお仕事 アレコレFestaへの女性乗務員の出演 8月	○	-
15 ツアー旅行者様車庫見学受入 9月	-	○
16 電車で市商祭へGOプロジェクト 9月	-	○
17 テロ対応訓練 9月	-	○
18 飛鳥クルーズ車庫見学受入、貸切電車運行 9月	-	○

## 《2019年度 実施施策》

内容	路線バス	軌道
■2019年10月1日～2020年3月末		
19 保育園児、小学生を対象とした出前授業(園児クラブ1件、小学校1校)10月	○	○
20 「バスこっち」データを活用した運行時分の見直し 10月	○	-
21 車庫見学受入(小学校3校) 10月	-	○
22 ローラー活動(薊野地区、竹島地区) 11月	○	○
23 電車でストフェスへGOプロジェクト 11月	○	○
24 乗務員確保のため「どらなびEXPO(関西会場)」に参加 11月	○	-
25 小学生・園児を対象とした出前授業(NPO1法人) 11月	○	○
26 車庫見学受入(小学校1校、子育てサークル、企業1社) 11月	-	○
27 イオンモール高知「おかえりバスチケット」 11月	○	-



2019年4月～9月の公共交通に関する設備投資は、以下表のとおりです

<2019年4月～2019年9月>

【2019年度 設備投資計画実施内容】

単位：百万円

事業	計画			実施		備考
	投資計画総額	主な投資内容	投資計画額	投資実績額	投資目的・狙い	
路線バス	96	補助車両(4輛)の購入	86	43	安全安心、利便性向上	補助車両(再生計画分2両+計画終了分2両)購入
		その他	10	6	利便性向上他	一宮BT追加工事、ダイヤシステム更新他
軌道	118	レール重軌条化工事	20	0	安全安心	大橋通～上町2丁目
		分岐器交換	30	0	安全安心	枅形
		き電線改良	11	0	安全安心	後免線、いの線の一部区間
		電柱建替更新	8	0	安全安心	〃
		その他	49	17	安全安心他	朝倉待合所、蛸橋駅舎及び宿泊施設、冷房装置1両、ダイヤシステム更新、補助電源装置 他予定
合計	214		66			

■路線バス低床化率 57.60%(令和元年9月末時点) 【路線バス車両数 125輛(空港連絡除く)、うち低床車両 72輛】

【事業再生計画 設備投資計画進捗状況(累計)】

単位：百万円

		計画0期 15/3半期	計画1期 16/3期	計画2期 17/3期	計画3期 18/3期	計画4期 19/3期	計画5期 20/3期	累計	
路線バス	計画	109	151	111	111	111	111	703	
	実績	146	70	120	138	183	49	706	100.4%
軌道	計画	51	139	279	197	118	37	821	
	実績	51	125	116	366	131	17	806	98.2%